

「(仮称)佐渡金銀山ガイダンス施設」の愛称募集!

平成31年4月に相川地区にオープン予定の(仮称)佐渡金銀山ガイダンス施設の愛称を募集しています。

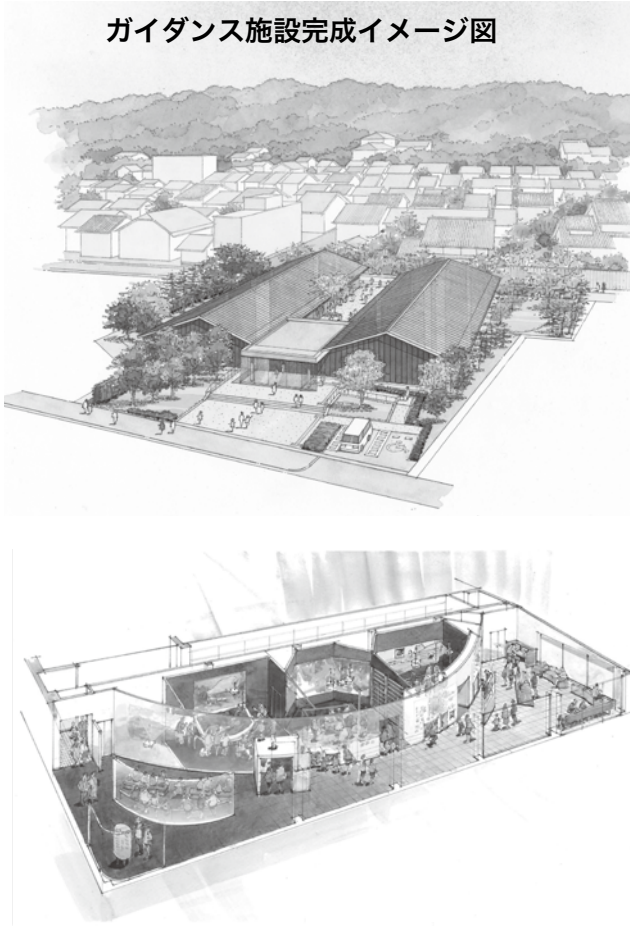
ガイダンス施設は、佐渡金銀山遺跡がもつ文化財としての価値を分かりやすく紹介するとともに、来訪者の皆さまを現地へ誘導するための情報提供の拠点を目指しています。

また、市民の皆さまの憩いや来訪者との交流の場として広く活用していただく予定です。

募集締切 11月30日(金) 午後5時

募集要項などは、市役所世界遺産推進課(本庁舎3階)、各支所・行政サービスセンターに備え付けてあるほか、市ホームページでもご覧いただけます。

ガイダンス施設完成イメージ図



産業観光部世界遺産推進課

☎ 63-5136

金銀鉱脈はどうやってできた?

佐渡では相川に限らず、さまざまな場所で鉱脈が多く見られます。なぜ鉱脈が多く見られるのでしょうか?

佐渡で見られる金銀鉱脈の多くは、火山活動によってできたものです。金は延べ棒のようなかたまりの状態では鉱脈に含まれていないわけではなく、さまざまな形態や過程を経ることで金は作られます。

佐渡の金銀鉱脈が作られたとされる約二千万年前には、活発な火山活動が起こっていました。地下にあるマグマによって熱せられた地下水に、まわりの岩石から金や銀が溶け出しました。金や銀を含む地下水は、岩のすき間を上昇し、沈殿することで金銀鉱脈を作りました。熱い地下水が何度も岩のすき間を通るため、鉱脈にはしま模様が見えることがあります。

岩のすき間、金を含む熱い水、マグマの熱などさまざまな条件が重なったからこそ、佐渡では金銀鉱脈を見ることが出来ます。次号では、巨大なすき間をつくった原因を探ります。

教育委員会社会教育課

ジオパーク推進室

(畑野行政サービスセンター内)

☎ 66-4160

鉱脈のでき方

